

2 (解答例)

1. 定めた
2. 結ぶ
3. 施行
4. 改正し
5. する
6. 解除する
7. 責任
8. 固めよう
9. 広がっている
10. 判断
11. 下りる
12. している
13. する
14. 受ける

3 (解答例)

1. 高校生のとき、規則に違反して学校を辞めさせられそうになった。
2. 試験の点数が基準を満たしていない場合、追試を受ける必要があります。
3. 親は子どもを育てる義務がある。
4. 日本に来てすぐに健康保険に加入した。
5. 介護は、制度をうまく利用して、家族の負担にならないように行えるといい。

Part 5 まとめの問題

(1) 対義語の問題 p.242

1. 入所者 (にゅうしょしゃ) ⇔ 退所者 (たいしょしゃ)
2. 和室 (わしつ) ⇔ 洋室 (ようしつ)
3. 外線 (がいせん) ⇔ 内線 (ないせん)
4. 室内 (しつない) ⇔ 室外 (しつがい)
5. 日陰 (ひかげ) ⇔ 日向 (ひなた)
6. 加湿 (かしつ) ⇔ 除湿 (じょしつ)
7. 陽性 (ようせい) ⇔ 陰性 (いんせい)
8. 良性 (りょうせい) ⇔ 悪性 (あくせい)
9. 急性 (きゅうせい) ⇔ 慢性 (まんせい)
10. 末期 (まつき) ⇔ 初期 (しよき)
11. 異常 (いじょう) ⇔ 正常 (せいじょう)
12. 重傷 (じゅうしょう) ⇔ 軽傷 (けいしょう)
13. 重症 (じゅうしょう) ⇔ 軽症 (けいしょう)
14. 重度 (じゅうど) ⇔ 軽度 (けいど)
15. 減退 (げんたい) ⇔ 増進 (ぞうしん)
16. 回復 (かいふく) ⇔ 悪化 (あっか)
17. 硬化 (こうか) ⇔ 軟化 (なんか)
18. 患側 (かんそく) ⇔ 健側 (けんそく)
19. 温罨法 (おんあんぼう) ⇔ 冷罨法 (れいあんぼう)・アイシング・クーリング
20. 無害 (むがい) ⇔ 有害 (ゆうがい)

21. 多量 (たりにょう) ⇔ 少量 (しょうりょう)
 22. 屈側 (くっそく) ⇔ 伸側 (しんそく)
 23. 上向き (うわむぎ) ⇔ 下向き (したむぎ)
 24. 出勤 (しゅっきん) ⇔ 退勤 (たいきん)

(2) カタカナ語の問題 p.243

1. ① 2. ③ 3. ② 4. ③ 5. ① 6. ③ 7. ② 8. ① 9. ③
 10. ① 11. ② 12. ① 13. ② 14. ③ 15. ② 16. ① 17. ③
 18. ② 19. ② 20. ③ 21. ① 22. ③ 23. ② 24. ②

(3) 文章の穴埋め問題

Part 1 施設のことは p.247

1. (1-1 関係する職種の人たち)

介護や医療の現場では、介護福祉士以外にも様々な人たちが働いている。

例えば、介護を受ける人からの相談を受けて、ケアプランを作成する

ケアマネージャー・介護支援専門員、治療を行う医師・医者、それを補助する看護師がいる。

そのほかに、病気や障害を持つ人たちに合わせた専門的な栄養指導を行う管理栄養士、指を動かす、食事をするなどの日常生活を送る上で必要な機能回復をサポートする作業療法士、座る、立つなどの基本動作ができるように、身体の基本的な機能回復をサポートする理学療法士なども関係する職種である。

2. (1-2 利用する人たち)

一般的に、高齢者は65歳以上の人を指す。介護福祉施設を利用するのは主に高齢者で、リハビリや日常生活援助などを受けるために来る通所者と、施設内で生活をしている入所者がいる。施設側は利用者気持ちを考えて介護サービスを心がけている。

3. (1-3 施設・設備・備品)

施設内には、入所者が過ごす居室・部屋がある。また、リハビリを行うことができる機能訓練室や、家族や外部の人と会える面会室・面談室、そして、利用者がのんびり過ごすことができる談話コーナーもある。

4. (1-4 居室)

居室は、自宅の環境にできるだけ近づけることが望ましいとされている。介護福祉施設では、利用者の様子を見たり、意見を聞いたりしながら居室内の温度を設定する。そして、湿度が高すぎても低すぎても健康に影響するので、加湿をしたり、除湿をしたりして、いい環境作りを目指している。湿気は、においやカビの原因になるので、日当たりのいい居室が理想であ

る。また、それぞれの居室には「ナースコール」が設置されていて、調子が悪くなったときなど、すぐ看護師に連絡がとれるようになっている。

5. (1-5 救急用品等)

救急箱に常に入っているものは、小さい傷口などに貼る「絆創膏」、傷口などの患部を消毒する際に使用する「脱脂綿」、大きな傷の処置や骨折した際に、骨を固定するために巻く「包帯」、体温を測る「体温計」などがある。また、そのほかに大きな怪我や事故で出血した場合のことも考えて、止血帯や「三角巾」も入れておくといい。

Part 2 体・体調のことば p.248

1. (2-4 体質)

年をとると、視力や足腰が「衰える」のは、「老化」現象の一つである。また、太りやすくなるのは、「加齢」とともに基礎代謝が落ちてくることが原因だともいわれている。しかし、「肥満」は多くの病気の原因となるので、日頃から生活習慣、食生活に十分気を付けたい。何かの病気で死ぬことより、衰弱し老衰で息を引き取るというのが、理想である。

2. (2-5 病気・怪我・症状)

近年、精神「疾患」を「患う」人が増えている。うつ病もその一つで、心因性、「外因」性、「内因」性によるものがあるとされている。現代のうつ病は、仕事や環境変化のストレスが「誘因」となることが多く、「好発」年齢は20～30代といわれているが、中高年での「発症」も多い。

3. (2-5 病気・怪我・症状)

胃の調子が悪く検査をしたら、ピロリ菌の「陽性」反応があり、薬が処方された。また、胃にしこりもできていて、「良性」なのか「悪性」なのかわからないので、再検査が必要となった。何でも「早期」発見、「早期」治療に限る。年に1回は健康診断を受ける習慣をつけよう。

4. (2-5 病気・怪我・症状)

「～症」ということばは多数ある。例えば、糖尿病で怖い「合併症」、集団生活で気を付けなければならぬウイルス「感染症」、春になると多くの人がかくしゃみや鼻水で悩まされる「花粉症」、事故による「後遺症」などが挙げられる。また、日本では高齢化に伴い、「認知症」の患者数も増加している。

5. (2-5 病気・怪我・症状)

暑い季節に毎年ニュースで取り上げられて跡を絶たないのが、「熱中症」だ。外にいるときだけでなく、室内にいるときも十分な水分補給をし、「脱水症状」にならないように注意をしよう。また、暑い時期は食が進まず、栄養が偏ってしまうと、「栄養失調」になってしまうことがあるので、食事にも十分に配慮しよう。

6. (2-5 病気・怪我・症状)

ベッドから落ちて、腰に怪我／傷・外傷・損傷を負ってしまった。また、その際に腕を擦りむき、足は打撲してあざができてしまった。その後、順調に回復し、痛みも治まってきたが、治りかけていた傷の瘡蓋・痂皮がはがれて、また血が出てしまった。怪我が治るまでもう少し時間がかかりそうだ。

7. (2-5 病気・怪我・症状)

1年前に胃癌の手術をした利用者が体の不調を訴えたので、病院へ行き検査したところ、癌が肺に転移していることがわかった。手術後の経過は良好で、容体も安定していたので、その結果にご家族はショックを受けた様子だった。

8. (2-5 病気・怪我・症状)

父の病状が急変したという連絡を受け、急いで病院へ向かったら、主治医から危篤状態だと告げられた。免疫力が低下し、感染症を併発したためとのこと。手術後の経過は良好だったのに……。なんとか回復してほしい。

9. (2-5 病気・怪我・症状)

高橋さんは寝たきりで、腕や脚の関節が拘縮している。そのため、面会に来るご家族は、硬直した筋肉をほぐすために、いつもマッサージをしている。その際、体に床ずれ・褥瘡らしい発赤があったとご連絡があった。もう少し体位交換の回数を増やそう。

10. (2-5 病気・怪我・症状)

利用者の山本さんは、身体運動機能の低下や認知症が原因で、尿・便・感情失禁を起こすことがある。また、認知症による幻覚や幻聴もみられ、ないものが見えたり、聞こえたりしていて、先日は「財布を盗まれた」と、物盗られ妄想までしていた。夕方になると、ふらふらと徘徊するようになり、見守りが必要な状態になっている。

11. (2-5 病気・怪我・症状)

事故による後遺症には、麻痺がある。例えば、うまく指が動かなくなるような運動麻痺、手の痺れが治まらないような感覚麻痺である。また、運動麻痺には、手足の一つだけに麻痺がある単麻痺、両足に麻痺がある対麻痺、身体の左側または右側に麻痺がある片麻痺、全ての手足に麻痺がある四肢麻痺がある。

12. (2-5 病気・怪我・症状、2-6 治療)

私は毎日、体温と血圧を測っているが、運動後や入浴後は避けて、朝、測るようにしている。毎日測ることで、健康管理に努めているが、少々、高血圧なので塩分の摂りすぎには、気を付けようと思っている。

13. (2-5病気・怪我・症状、2-6治療)

はじめて受診する病院では医師の診察を受ける前に、**既往症／既往歴**を記入することが多い。そして、それをもとに、医師が**診察／診断**し、治療法を決定し、薬を**処方**してくれる。

14. (2-6治療)

体位変換する際や衣服の着脱をする際は、**患側**・**健側**を念頭に置いて行い、常に声をかけながら、利用者の負担にならないように配慮している。

15. (2-6治療)

医師の診断では病気が**治癒／完治・全治・根治・全快**するまでは3か月ほどかかり、通院が必ずやとのこと。しばらくは、**投薬**による治療を行うことになった。現在は、**鎮痛**剤で痛みも緩和されている。早く病気を治したいものだ。

16. (2-6治療)

利用者が転倒して足の痛みを訴えたので、医師に診てもらったところ、打撲とのこと。すぐに**冷電法／アイシング／クーリング**を行い、患部を冷やした。すぐに**処置／手当て**をしてもらったので、腫れずに済んだが、1週間は**安静**にするようにとのこと。

17. (2-6治療)

祖父は医師から癌の**告知**を受け、**余命**3か月と宣告されたが、治療を受けながら今も存命だ。これは、医師の懸命な治療、また祖父の生きようという生命力がそうさせているに違いない。

18. (2-6治療、2-7薬)

春は本当に花粉症に悩まされる。目がかゆく、こすりすぎて充血することもあり、眼帯をつけたりすることもある。医師に薬を**処方**してもらっているが、**副作用**が強く、眠気に襲われる。それで、薬を服用した後は、車を運転しないようにしている。

19. (2-7薬)

母は常日頃から**常備薬**として、胃薬、頭痛薬を持ち歩いている。また、眠りが浅いとのことで、**睡眠薬・眠剤**も処方してもらい、毎晩服用している。飲むのと飲まないのとでは、ずいぶん違うらしい。

Part 3 介護のことば p.251

1. (3-1体位)

寝たきり予防のため、木村さんは日中は**座位**で過ごしてもらおうようにしている。ただ、今日は疲れている様子だったので、**臥床**を促した。安楽な**姿勢／体位**で寝てもらうために、寝るときはクッションを使用してもらっている。

2. (3-2 移動・移乗介助)

介護業務は**移乗**介助が多く、腰への負担が大きい。そのため、皆、腰痛予防のため、腰を守るベルトを巻いたり、利用者をベッドから**車椅子**へ移乗する際には、**ボディメカニクス**を実践したりしている。それでも、腰痛に悩まされる介護者は多い。

3. (3-2 移動・移乗介助)

父は先月、**歩行器**を使って歩行訓練を始めていたが、回復が早く、今では**杖**をつき、一人でどこへでも行けるようになった。移動するときには、転倒に気を付けて、**三点歩行**をしている。現在、リハビリ入院していた父を迎えるために、家を改修し、**バリアフリー**住宅にしているところだ。

4. (3-3 排泄介助)

木村さんは自分でトイレに行き、**排泄**することができるが、時々、トイレに行っても**排尿/排便**するまでに、我慢できず漏らしてしまうことがある。しかし、すぐに**おむつ**を使うのではなく、本人の意思を尊重し、様子をみたい。

5. (3-3 排泄介助)

認知症が進んでいる田中さんは、便**失禁**の回数が増えてきている。先日は居室で、**弄便**していて、壁が便がついていた。便が便だという理解ができていないため、口に入れてしまうかもしれないので、今後も見守りが必要だ。

6. (3-3 排泄介助)

木村さんは**頻尿**で、夜間になると**尿意**を感じる事が多く、夜中に2、3回トイレのために起きている。それにより、熟睡ができないとのこと。歩行困難ということもあり、居室に**ポータブルトイレ**を置き、様子をみている。

7. (3-4 食事介助)

利用者の山本さんは**好き嫌い**が多く、**偏食**をしがちで、家では野菜を食べずに、肉ばかり食べていた。でも、施設の**献立**は、管理栄養士が栄養面を考慮して作成しているので、安心だ。

8. (3-4 食事介助)

佐藤さんの好きな献立は、主食に御飯、**主菜**に焼き魚、**副菜**に納豆とほうれん草のおひたし、そして、お味噌汁といった、実に栄養の**バランス**がいい伝統的な和食だ。

9. (3-4 食事介助)

うちの母の料理は**味付け**が濃いのが、働いている施設で食べる料理は味が薄い。これは、塩分をおさえて作っているからだろう。久しぶりに母のおにぎりを食べたが、塩をかけすぎているせいか、**しょっぱい・塩辛い**。でも、これが母の味だと、なつかしく思った。

10. (3-4 食事介助)

食材で万能なのは、「野菜」だ。焼く、炒める、蒸す、煮るなど、どんな調理法でもおいしく調理できる。森さんはその中でも、カラッと揚げた天ぷらが一番好きだそうだ。

11. (3-4 食事介助)

最近、利用者の高橋さんが、食べ物をうまく嚥下できないようだ。しっかり飲み込めるよう、嚥下訓練食などを活用して、食べるための筋力を鍛える必要があるようだ。あとは、口に入れたものをしっかり咀嚼するよう促し、誤嚥しないように見守らなければいけない。

12. (3-4 食事介助)

大野さんは認知症が進行していて、机の上にあるものを異食してしまうので、見守りが必要だ。机の上に細かいものは置かないようにしましょう。

13. (3-5 入浴介助)

祖父が体調不良で入浴できないので、温かい蒸しタオルで清拭をしたところ、とても気持ちがいいと喜んでくれた。普通に入浴できないときは、足浴だけでも体が温まり、リラックス効果があるそうだ。

14. (3-5 入浴介助)

祖母は、ラベンダーの香りの入浴剤を入れた風呂が好きで、お気に入りの香りを楽しみながら入っている。

15. (3-6 整容)

利用者の鈴木さんは歯ブラシを嫌がるので、いつも洗口液で口腔洗浄をしている。ただ、口をすすぐ際に、飲み込んでしまわないか心配になる。うがい薬を使い、うがい・含嗽をする際も同様の心配がある。

16. (3-6 整容)

今日は外出するとのことで、祖母が朝早くから身支度をしている。お気に入りの服を着て、髪型・ヘアスタイルを整えていたが、白髪が気になったようで、今度、美容院に行つて染めたいと言っていた。おしゃれをして生き生きとしている祖母を見て、うれしく思った。

17. (3-7 睡眠)

施設は夜の11時に消灯する。職員は利用者が気持ちよく入眠できるよう、環境を整えるが、入所した直後は環境が変わってなかなか安眠・良眠／熟睡・熟眠ができない利用者も少なくない。そのため、日中、傾眠傾向が強い人もいる。

18. (3-7 睡眠)

「寝ていたほうが楽だから」と、ベッドの上で食事を摂りたがる祖父に、「寝たきり」になっちゃおうよ」と言い、生活にメリハリをつけるように、**寝食分離**を促している。祖父も「そうだな」とベッドから離れて食事を摂るようになった。

19. (3-8 洗濯)

介護施設では、毎日洗濯をしているが、染みがついている服も少なくない。その場合は、**漂白剤**に浸けてから洗濯をするようにしている。

20. (3-9 掃除)

施設内を掃除する際は、窓を開け、**換気**をしながら、行っている。また、ごみは**燃やすごみ**、**燃やさないごみ**、**資源**などに分別し、捨てている。そして、トイレには**防臭／消臭／芳香**剤を置き、施設内の所々には花を飾り、清潔さを大切にしている。掃除の後には、しっかり手を洗い、**除菌**をしている。

21. (3-10 リハビリテーション)

片麻痺のある母は、毎日、**機能訓練**をしに通所介護を利用している。なんとか、**残存機能**を生かし、自分でつかまり立ちできるようになってもらいたいと思う。理学療法士さんも親切に指導してくださっている。

22. (3-11 日常業務・報告)

来月の**シフト・勤務スケジュール**表を確認したら、**夜勤**が4日入っていた。夜は職員の人数が少ないので、日勤以上に気を付けなければいけないこともある。自分の健康管理もちゃんとしなければ……。

23. (3-11 日常業務・報告)

日常業務では、食事介助や排泄介助、入浴介助、移乗介助のほかに、居室の**見回り・巡回・巡視**もしている。そこで、利用者の様子を確認し、**声かけ**をし、容体を確認したり、話を**傾聴**したりする。中には、居室で転倒しているような場合もあるので、一部屋、一部屋しっかり**目視**で確認している。

24. (3-11 日常業務・報告)

夜勤から日勤、日勤から夜勤へ**交替**する際には、しっかりと**申し送り**をし、引き継ぎをしている。また、業務の最後には**日誌・日報**をつけることになっている。利用者について**記録**を残しておくことはとても重要なことだ。

25. (3-12 衣服)

着脱は1日の生活で欠かせない動作だ。介護者が気を付ける着脱の基本動作には「**脱健着患**」があり、片麻痺や動かさにくい部位があるときは、患側から着衣する。できるだけ、要介護者の負担にならない姿勢で介助することが大切だ。

26. (3-12 衣服)

この服は、「**伸縮・ストレッチ**」性がある布地なので、片麻痺がある方でも着やすいですよ」と、店員に勧められた。母には、「**肌触り**」がよく「**着心地**」のいい服を着てもらいたいと思う。

27. (3-13 利用者の日常)

利用者の遠藤さんは、いつも元気で明るい。趣味のハイキングと、お孫さんの成長を「**生き甲斐**」にしている。最近、生け花にも「**関心**」があって、花を見ていると「**リラックス**」できるのだそうだ。

28. (3-13 利用者の日常)

余暇を利用して、何か健康にいいことを始めたいと思っている。しかし、私は何かを始めても、いつも3日でやめてしまう「**傾向**」があるので、まずは自分の生活「**習慣**」を見直すことから始めよう。

29. (3-15 オノマトペ)

明日はとうとう国家試験だ。私は1週間前からずっと「**どきどき**」して眠れなかったのに、クラスメイトのサイさんは「試験が楽しみで「**わくわく**」している」と言っていて、「**びっくり**」した。私は大事なときに、お腹が「**ごろごろ**」してしまうことが多いので、体調はちゃんと整えておこう。

30. (3-15 オノマトペ)

昨夜から頭が「**がんがん**」するし、高熱で体が「**ぞくぞく**」するし、辛いので仕事を休むことにした。立つと眩暈で「**くらくら・くらりと・くらと**」するので、友だちに薬を買ってきてもらって、今日は一日中家で「**のんびり**」過ごすことにする。

31. (3-15 オノマトペ)

最近、利用者の池田さんを注意深く観察している。夜、「**こっそり・こそと**」居室を出て、家に電話をしているようだ。足が弱くなっていて、「**よたよた**」歩くので、一人で歩いているのを見ると「**ひやひや・ひやりと・ひやと**」／「**はらはら**」することがある。「これからは居室を出るときにこちらに声をかけてくださいね」と伝えたら、理解してくれて「**ほっと**」した。